

PSC 主な活動2014年1月～2月

1/6(月) 仕事始め
 1/7(火) 定例事務局MTG
 1/9(木) おうみ未来塾アドバイザー会議
 1/10(金) 新春合宿
 1/11(土) 第4回理事会
 1/13(月) EPTとことんトーク
 1/16(木) あんねつと小森氏来所
 1/18(土) 安城市まちづくり人(びと)講座④
 1/22(水) ボタンCafé 運営会議、美濃加茂市来所
 1/23(木) SV会議、地域の未来来所
 1/29(水) 協働推進人材育成講座「企業×NPO Win-Winの協働とは」①(静岡)、カフェ・アイリス運営会議
 1/31(金) SAVE JAPAN次年度説明会(東京)、CEO会議、日本NPOセンター・カルチャータイムズ(CT)米田氏とP賞個別検討

2/3(月) 愛知県NPOと行政の協働に関する実務者会議
 2/4(火) 定例事務局MTG
 2/6(木) 名古屋市社会福祉協議会来所
 2/7(金) 企業×NPO×行政のマッチングフォーラム(茅ヶ崎)、(株)真誠ママチーム新製品検討会議③
 2/8(金) 尾張旭市市民活動促進助成事業「中間報告会」雪のため中止
 2/12(水) 協働推進人材育成講座「企業×NPO Win-Winの協働とは」②(静岡)
 2/13(木) 小牧商工会議所・東海ゴム来所
 2/14(金) なごや環境大学
 2/15(土) 安城市まちづくり人(びと)講座⑤
 2/16(日) 行政・企業・NPOの協働推進フォーラム(山梨)雪のため中止
 2/18(火) 地域福祉リーディングモデル事業「学習会」(名古屋市社会福祉協議会)
 2/20(木) 市民プロジェクトグループインタビュー(横浜)、CT米田氏とP賞検討②、NNネットSRフォーラム参加
 P賞運営委員会④
 2/23(日) ボタンCafé運営会議
 2/25(火) 第8回協働アイデアコンテスト「フォローアップ会」、カフェ・アイリス運営会議
 2/26(水) SV会議
 2/27(木)

事務所を移転します

3月4日(火)、同じビル内の4階から2階に事務所を移転しますので、改めて住所をお知らせします。

〒464-0067
 名古屋市千種区池下1丁目11番21号 サンコート池下2階
 電話番号・FAX番号は今まで通りです。
 お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

編集後記

自治体職員のためのESDハンドブックでは、54の市町村との校正等々、根気のいる作業も多々ありましたが、完成してほっと一息です。(松橋)

ソチ五輪。世界のアスリートたちが目標に向かって努力し挑戦する姿に、多くの感動と勇気をもらいましたo(∇∇)oそして日頃の行いを大いに反省・・・。(水野)

大阪にて学生時代の友達との宴会に連日参加。地元はあつたかく居心地がいい。すっかりホームタウンシックな今日この頃です。(山崎)

旧正月に伊勢神宮に参拝。ピッカピカで神々しいお社に感激。今年はいいことがありそうな気がしました。(松本)

PSC PICK UP! ピックアップ

2014年度「PSC定時総会」開催は5/24

2014年度のPSC定時総会は、5月24日(土)13:30より開催いたします。場所などの詳細は、次号のPSCレポートやハガキなどで改めてお知らせいたします。会員のみなさま、ぜひ今からご予約下さい。

東日本大震災現地NPO応援基金 東北の未来に引き続き応援を!

2011年3月より、認定NPO法人日本NPOセンター(東京都千代田区)が行っている助成基金で、東日本震災の現地で活動しているNPOの組織基盤の強化をテーマに、これまでに50団体63件に対して1億5895万円を助成しています。震災から5年となる2016年まで行われ、現在寄付拡大キャンペーンを実施中です。詳細は、日本NPOセンターのHP(<http://www.jnpoc.ne.jp/>)をごらんください。

インターン生の感想を紹介します

—— (公財) 損保ジャパン環境財団CSOラーニング

2013年6月から2014年1月末まで、2名の大学生をインターン(研修生)として受け入れ、一緒に活動をしてきました。今後のさらなる活躍をお祈りします!

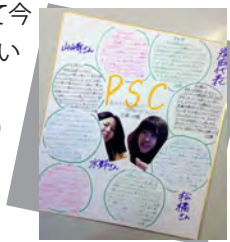
1年間お世話になりました。

このインターンを通して、特に印象に残っていることは、日本パートナーシップ大賞です。互いに異なる主張をもつNPOと企業が、1つの目標に向かって協働しているお話を聞き、大変感銘を受けました。また同時に、その取り組みを推奨し、さまざまな人に知ってもらうための場を提供しているPSCの社会的価値を感じました。

今後社会で働くなかで、ここで学んだ経験を生かし、社会に対して積極的にNPOと企業の協働の重要性を発信していきたいです。また、空いた時間を使って今後も主体的に取り組んでいこうと考えています。本当にありがとうございました。
やすか
(近藤 穏加)

2人からPSCへのあたたかい書きき ▶

インターンを通して協働の素晴らしさを学ばせていただきました。協働は、NPOと企業が同じ目標を持っていても互いの価値観が異なるため、簡単にできるものではないことがわかりました。しかし互いの時間を合わせて一緒に事業を作ることにより、事業の参加者全員が幸せになれる素晴らしい手法であると感じました。また、非営利のため、事業を運営する上で難しい部分があることも知りました。インターンは終わりましたが、地域課題解決等のために、これからもPSCさんのサポートをしていけたらと思います。(伊藤 里奈)



PSC

Report

パートナーシップ・
サポートセンター

Vol.94

発行 特定非営利活動法人
 パートナーシップ・サポートセンター(PSC)
 〒464-0067 名古屋市千種区池下1丁目11番21号
 サンコート池下4F
 TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407
 E-Mail info@psc.or.jp URL <http://www.psc.or.jp>
 発行人・岸田真代

Vol.94発行にあたって

3月というにはまだ「春は名のみ・・・」ですが、ちらほらと花の便りも聞かれる頃となりました。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。PSCレポート94号をお届けいたします。

昨年11月末に終えた「第10回日本パートナーシップ大賞」。10回という大きなひと区切りが付き、半ば私たちの任務はやり終えたという思いも一方でありつつ、しかし「その後」をいかに見通していくのか、これから私たちにできることできないことを図りながら「次」なる手を模索してきました。

広がりつつある「NPOと企業の協働」を、10数年前から見える化してきた「パートナーシップ大賞」事業。その先駆性を「より全国区にすること」、そして「継続できる体制をつくること」と「そのための財源確保をすること」の計3つを改めて掲げ、「その後」の実現に向けて動き出しました。

今少しずつその芽が見え始めてきました。「ぜひ自分たちがつないでいきたい」という若者たちと、「10年も単独のNPOで頑張ってきたことに敬意を表する」と、私たちの活動を評価して下さる全国区のNPO支援センター。それらをつないで、「次」へと動き出しそうです。

あとひと踏ん張り。みなさまの後押しで新たな一歩へと踏み出せるかも知れません。乞うご期待!!

2014年2月吉日

パートナーシップ・サポートセンター
代表理事 岸田真代

まちづくり人(びと)養成講座

—— 市民協働推進計画スタートアップ・プログラム

安城市のまちづくりに関心のある市民と市職員が、講義とワークショップを通して、協働のまちづくりに必要な知識や技術、役割などについて共に学ぶ連続講座。全5回が終了しました。

4回目の1月18日(土)は、PSC代表岸田による講義。多様な主体、特に行政が大きく関わった協働の事例を、パートナーシップ大賞の入賞事例の中から紹介しました。

後半のワークショップは、協働を進めるために欠かせない合意形成の仕方とそのプロセスについて、個人ワークとグループディスカッションを通して確かめ合いました。

最終回の2月15日(土)は、日本NPOセンター事務局長の田



尻佳史さんを講師にお招きし、「ビジョンをかたちにする」ために必要な計画づくりや、そのために大切にすべきことなどを総括していただきました。

後半は、5回の講座を通して、あるいは日頃の活動の中で見つけた、まちの夢を具体化するための計画を発表していただきました。行政と市民が同じテーブル、同じ目線で「まちの夢」を語り合う貴重な機会となりました。(水野)



「協働推進5つのステージ」プログラムで協働コーディネーターを養成

—— 静岡県協働推進人材育成講座

「そうか。協働コーディネーターって、こういうことをしていかなければいけないんだ」と、改めて気づいたという、NPO支援組織の参加者。「協働推進5つのステージ」の100問チェックを終えたときのひとこまで。

静岡県主催の協働推進人材育成講座が、1月29日(水)と2月12日(水)の2回にわたって、ふじのくにNPO活動センターで開催されました。

第1回は「NPOと企業の協働」、第2回は「NPOと企業の協働推進」をテーマに実施。いずれも10時から16時の計10時間のプログラムを行いました。

基礎的な協働とその事例について講義した後、PSC作成の「協働推進100問チェック」で自己のコーディネーターとしてのレベルを確認。5つのステージ(初動・導入・展開・実施・評価の5段階)でそれぞれやるべきことを明らかにしながら、自分たちでその仕事を具体化していきました。

例えばステージ3では「マッチング・マニュアルづくり」をテーマに、自分がコーディネーターなら、どのようにNPOと企業をマッチングしていくのか、その視点や方法を考えました。このプロセスを踏まえることで、コーディネーターとしての自覚と自信につながっていくはず。 (岸田)



PSC代表岸田の“東へ西へ”(2014年1月～2月)

2014年1月。今年は元旦を家族で迎えた後、1/2(木)の大学の部活の同窓会から始まった。そのまま90歳になる父の見舞いがてら実家へ。近くにある四国八十八カ所のひとつ雲辺寺など3カ所ほどを妹や姪らとともに巡る。

名古屋に戻って1/6(月)から仕事始め。今年は先が見通せる年になるのか?1/9(木)はおうみ未来塾アドバイザー会議で滋賀県大津市へ。おうみ未来塾の13期生のカリキュラムを検討。1/10(金)はミニPSC新春合宿。コアメンバーだけだったことから、逆に突っ込んだ話も。翌1/11(土)は1日かけて理事会&ワークショップ。1/13(月祝)はEPTとことんトーク。1/15(水)には昨年9月以降続けてきている中部経済新聞の連載の第21～22回分の原稿を仕上げる。ちなみに、1/28(火)には第23～24回分を、2/24(月)には第25～29回最終分を仕上げて新聞社に。書くこと自体は苦にならないとはいえやはり緊張感のあるものだった。

1/18(土)には安城市「まちづくり人(びと)講座」の4回目。私の担当で、協働と合意形成をテーマに実施(1面参照)。1/23(木)にはオルタナの森氏からの依頼による「CSR検定3級テキスト」の原稿を仕上げる。本当に昨年来原稿書きが続く。これとは別のオルタナ「CSR Monthly」の連載も17回になった。

1/29(水)と2/12(水)は静岡県協働推進人材育成講座「企業×NPO Win - Winの協働とは」の連続講座。NPOと企業の協働コーディネーター養成である。(1面参照)。1/31(金)はSAVE JAPAN次年度説明会で東京へ。続いてCEO会議に出た後、カルチャータイムズ(CT)の米田氏と懇談。次回パートナーシップ大賞開催に向けて、日本NPOセンターおよび米田氏との調整が少しずつ進展。

2月。2/7(金)「企業×NPO×行政のマッチングフォーラム」で神奈川県茅ヶ崎市へ。2011年度の経産省の事業で、私たちの「企業とNPOの協働」のノウハウ移転先のひとつに手を挙げてくれた縁から取り組みが進展した茅ヶ崎。そこでの基調講演というのはやはりうれしい。2/13(木)には久しぶりに私に会いたいと声をかけて

くれた小牧商工会議所専務理事らと会食。2/15(土)は安城市「まちづくり人(びと)講座」の最終回。それぞれの発表を終えて、翌日のイベントのため山梨に向かうと駅まで行ったもののあの豪雪で交通網は遮断。2/16(日)に行われる予定だった「行政・企業・NPOの協働推進フォーラム」(山梨)は結局中止となった。2/18(火)は名古屋社協主催の「地域福祉リーディングモデル事業」の学習会で講演。2/20(木)は1昨年から係わった「市民プロジェクト」を終えてのグループインタビューに横浜へ。CT米田氏ともさらに話を進め、NNネット主催のSRフォーラムに参加。2/23(日)のP賞運営委員会ではかなり突っ込んだ議論により、運営委員合意のもとに方向が見えてきたのは大きな成果である。(2014.2.24 岸田真代)

神奈川県茅ヶ崎市
企業×NPO×行政のマッチングフォーラム



パートナーシップ大賞運営委員会

日本パートナーシップ大賞

第10回日本パートナーシップ大賞の第5回運営委員会が2月23日(日)に実施されました。当日は運営委員6名、事務局4名、計10名が出席。第10回の運営委員会として最後となる今回は、各段階(募集～最終審査・表彰式)での問題点について振り返るとともに、今後に向けての課題・改善策を確認しました。また、事例集の執筆状況も併せて報告されました。

さらに、第11回開催に向けて、現在検討中の企画案についての報告と話し合いも行われました。過去10回に渡り「NPO×企業の協働」の事例を評価・表彰してきた実績をもとに、日本パートナーシップ大賞を今後も事業として継続させていくために「受け継がなければならないこと」「変化・進化させていかなければならないこと」は何なのか。出席された委員の方々から多くの視点での意見をいただき、新たなステージに向けての方向性が導き出されました。(根本)

委員会の後はみんなでお酒を



第10回日本パートナーシップ大賞を終えて

PSCの基幹事業として2002年6月に第1回パートナーシップ大賞を開催し、昨年11月30日に10回を数えました。この事業を支えてきた運営委員のみなさんから、第10回開催を終えた感想をいただきました。

杉田教夫氏
(元損害保険会社/元(N)パブリックリソースセンター)

第1回から運営に関わり、最近特に感じるがあります。それは、自分としての評価軸が変化してきているということです。

その事業が本当に社会的課題を解決するものか、課題の緩和に過ぎないものか。特に企業にとって、その事業が企業活動にもたらす本質的な問題に向き合ったものか、そうでないものか。もちろん、共通の価値判断で調査や評価を行っているのですが。

小室達章氏
(金城学院大学国際情報学部准教授)

第10回はグランプリも準グランプリも、海外を舞台に展開するパートナーシップ事業でした。NPOと企業のパートナーシップも、国際色豊かになってきたという印象を受けます。また、震災関連の事業もたくさん応募されていました。NPOと企業のパートナーシップ事業によって、少しでも傷が癒されるといいですね。

手塚明美氏
(N)藤沢市民活動推進連絡会/(一社)ソーシャルコーディネートかながわ)

大賞の発表前はいつもドキドキするのですが、今回は特に緊張しました。調査の主担当としてかわりを持たせていただいた応募案件が最終選考に残ったのです。惜しくも大賞は逃してしまいましたが、準グランプリを受賞しました。数ある優秀な事例の中から、調査担当としてかわられたことを大変光栄に思います。ありがとうございました。

自治体職員のための
ESDハンドブックが完成!

愛知県ESD研修

昨年7月からPSCが企画・実施してきた自治体職員のためのESDセミナー。その集大成として、セミナーのエッセンスと県内の市町村および愛知県のESDに関連する取り組みをまとめた「自治体職員のためのESDハンドブック」が完成しました。

また、一般の方にも気軽に読んでもらえるように、ハンドブックの内容をコンパクトにまとめたリーフレットも作成しています。

「次世代育成」「環境」「防災」「国際理解」「人権・平和」「まちづくり・地域活性」「文化」「その他」という8つの分野において、すでにさまざまな取り組みが各地で行われています。

今後このハンドブックが、自治体職員を中心に、持続可能な地域づくり・人づくりを進める上で活用されることを願っています!(松橋)



ボタンCafé 頑張っています!

PSC NPO喫茶支援

PSCの仲介によりオープンした「ボタンCafé」の中村優子店長(社会福祉法人ゆめネット:写真中央)に寄稿いただきました。

東区白壁の中産連ビル1階に喫茶室ボタンCaféを昨年の7月にオープンさせていただきました。障がいを持つ若い仲間たちが、働く訓練をしながらランチを中心に営業しています。一人ひとりが役割意識を持ち、食器類を洗浄したり、ご注文をいただいた際には「ハンバーガーランチいっしょ!!」など張りきった声がホール中に響き渡り、イキイキ働いています。少しずつですが常連のお客さまも定着しつつあり、「頑張ってるな!」と声をかけていただくなど、ありがたい環境で運営させていただき、とても感謝しております。

パウンドケーキなど手作りのスイーツも準備しています。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

(株)真誠 「“こま”んえつプロジェクト」
ママチーム新製品検討会議に
シロゴマンも参加

CSR推進

(株)真誠とママのホンネ研究所のコラボ事業はいよいよ大詰め。販売商品も決まり、2月7日(金)の第3回「新製品検討会議」は、パッケージデザインと販売方法の検討に入りました。会議にはシロゴマンの姿も。参加者のママたちはドアを開けて入って来ると、「あ〜!(#^o^#)」と一様に笑顔に。一緒に写真を撮ったりと場がなごみ、シロゴマンは会議の雰囲気づくりに一役買っていました。託児付きの会議なので、小さいお子さんのいるママたちも気遣うことなく会議に集中でき、販売方法については、ママ目線の今までとは違う販路のアイデアが出されました。(山崎)

協働実現を目指し、参加者みんなで考える
フォローアップ会を開催

第8回企業&NPO協働アイデアコンテスト

協働アイデアコンテストの事業はコンテストを行うだけでなく、提案された協働事業の実現を目的に、毎年フォローアップ会を開いています。

今年度は2月26日(水)、中部圏社会経済研究所とPSCの主催のもと、最終選考会でアイデアプレゼンを行った第8回コンテスト入賞の4団体が参加しました。

コンテスト終了後からの活動の様子をご報告いただき、参加者全員で実現に向けて話し合いました。NPO目線、企業目線でのさまざまな意見が飛び交う中で、協働実現を具体的に進めるためのアイデアが出されました。

今回ご報告いただいた中で、ほぼ追加助成が決まってきた団体が2団体。その他の団体も順調に協働実現に向けて進めています。(山崎)

